

平成25年度事務事業評価シート

◎基本情報

事務事業名	企業誘致推進事業		担当部署	経済建設部 経済局 商工政策課		
総合計画体系			根拠法令 計画など	鳴門市企業立地奨励条例・同条例施行規則 鳴門市工場立地法地域準則条例・同条例施行規則		
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり	事業期間	開始	平成	11年度
政策(中項目)	1	豊かで活力あふれるまち なんと			終期	未定
(小項目)		産業				
施策	1	産業の振興と経営基盤の充実強化				
基本事業	3	企業誘致の推進				

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 県内外の優良企業						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	県内外の優良企業を「なんとソフトノミックスパーク」などへ誘致することにより、就業機会の増大や地域経済の活性化、市民所得の向上等を図り、活力あるまちづくりを推進する。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
		鳴門市産業団地(ソフトノミックスパーク)への企業誘致	1	1	2			社

◎実施結果(DO)

事業実施内容	24年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行ったのか	工場立地法の緑地面積率の緩和を実施した。鳴門市工場立地法地域準則条例の制定(平成25年3月27日公布、4月1日施行)							
事業実施手法		<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他							
		指標名	23年度実績	24年度実績	25年度目標	26年度目標	27年度目標	単位	
活動指標	実施した事業の活動量を示す指標	1	新たな企業誘致施策の検討	1	1	1	1	1	件
		2							
成果指標	対象にどのような効果があつたか示す指標	鳴門市産業団地(ソフトノミックスパーク)への企業誘致		1	1	-	-	-	社
		目標達成率(実績/目標)			100.0	-	-	-	%

コスト分析		23年度実績	24年度実績	25年度	26年度	27年度	単位	
事業費	(財源内訳の合計)	27,079	17,070	393	25,532	37,782	千円	
	財源内訳	国	0	0	0	0		0
		県	0	0	0	0		0
		地方債	0	0	0	0		0
		その他	0	0	0	0		0
		一般財源	27,079	17,070	393	25,532		37,782
事業にかかる人件費 (人件費内訳の合計)		2,016	2,016	2,016	2,016	2,016	人	
人件費内訳	正規職員(6,721千円/人)	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3		
	臨時職員等(2,023千円/人)							
総事業費 (事業費と事業にかかる人件費の合計)		29,095	19,086	2,409	27,548	39,798	千円	

【事務事業名:企業誘致推進事業】

◎平成25年の実施状況(DO)

現在の実施状況	25年度で全区画立地予定のため、銀行・宅建協会との遊休地の情報交換や都市計画の制限緩和など新たな企業誘致施策の導入を検討する。 また、投下固定資産額・地元雇用者数の見直しなど企業立地奨励条例の見直しや雇用奨励金制度の導入なども検討する。
---------	---

◎項目別評価(CHECK)

事務事業の評価	1.必要性の評価			理由等所見欄
	6	<input checked="" type="checkbox"/>	① 廃止した場合に支障が出る。	企業誘致推進は雇用の創出や税収の増加に繋がる事業であるため必要である。
		<input checked="" type="checkbox"/>	② 施策 産業の振興と経営基盤の充実強化 の達成につながる事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	③ 税金で実施するにふさわしい事業で、市民への説明責任も果たせる。	
		<input type="checkbox"/>	④ 市民の基本的な生活の維持・確保に必要不可欠な事業である。	
		<input type="checkbox"/>	⑤ 行政内部の管理上必要不可欠な事業である。	
	/10	<input type="checkbox"/>	⑥ 法令により実施することが義務づけられている事業である。	
	2.有効性の評価			理由等所見欄
	8	<input checked="" type="checkbox"/>	① 市民生活上の課題解決に貢献している。	新たな企業立地もうまれていることから事業は有効である。しかし、産業団地について全区画に進出予定であるため、新しい施策も検討しなければならない。
		<input checked="" type="checkbox"/>	② 行政内部の管理上の課題解決に貢献している。	
<input checked="" type="checkbox"/>		③ 事業目標が達成できるような事業内容になっている。		
<input checked="" type="checkbox"/>		④ 事業対象は適切である。		
<input checked="" type="checkbox"/>		⑤ 成果目標が達成され、市民に具体的に説明できるような効果があがっている。		
/10	<input type="checkbox"/>	⑥ 現在の事業費で、事業の見直しによる成果向上の余地はない。		
3.効率性の評価			理由等所見欄	
6	<input checked="" type="checkbox"/>	① 事業実施手法は適切である。	産業団地について全区画に進出予定であるため、新しい事業実施手法を検討しなければならない	
	<input checked="" type="checkbox"/>	② 事業費を削減する余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	③ 作業手順の改善などによる人件費削減の余地はない。		
	<input type="checkbox"/>	④ 受益者負担や補助金の割合に問題はない。		
	<input type="checkbox"/>	⑤ 効率性向上の余地はない。		
/10				

◎今後の方向性(ACTION)

課題					
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓「廃止」・「要改善」・「拡充」の場合は以下の欄に記入してください。					
今後の改革案	実施予定時期	<input type="text"/> <input type="text"/>			
	どのように改革するのか				